



シルバー日向岬

新年号

平成 4 年 1 月 1 日

編集発行

社団法人
日向市シルバー人材センター
〒883 日向市中町 7 9 5 6 - 9
TEL (0982) 52-2200

謹んで新春の御祝詞を申し上げます

新年を迎えて

日向市シルバー人材センター
理事長 和田 助一



新年あけましておめでとうございませう。

会員の皆様には、ご家族お揃いで輝かしい平成四年の初春をお迎えになられたこと、お慶び申し上げます。

さて、本市シルバー人材センターも設立して早二年九ヶ月を経ました。この間年を追って会員も増加し、地域住民の方々や企業関係のご理解によるご協力国、県、市のご指導等により、前年では契約高も月平均一、〇〇〇万円の実績を示し極めて順調な伸展をおさめております。

このことは、会員皆様の誠実な就業の取り組みが高く評価され、信頼されている賜と深く感謝申し上げます。

急速に進展する高齢化、更には国際化、情報化の進展などにあつて環境の変化により住民が

らの要望も多種多様化、高度化してまいりました。そのような情勢のなかでシルバー人材センターの果す役割は、今後益々地域社会において欠くことのできない存在となるものと確信いたします。

今後共、「自主・自立・共働・共助」の精神を再認識し、お互が協力し合い、働くことにより社会参加と生きがいの充実に得るよう、そして住みよいまちづくりにより永年培った知識、経験能力を充分発揮されるようご期待申し上げます。

皆様には、ご自愛の上安全就業に、又、交通事故等には特にご留意されまして、本センターの発展に一層のご協力をお願い申し上げます。

終りに、皆様方のご健勝とご多幸を祈念いたしましたして、新年のご挨拶といたします。



新年のごあいさつ

日向市長

三 樹 博



輝かしい新春を迎え、日向市シルバー人材センターの会員および関係者の皆様方に謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

センターにおかれましては、設立以来「市民に親しまれ、信頼されるセンター」として着実な成果と前進を遂げておられますが、これはひとえに「誠実・親切・丁寧・責任感」をモットーとした会員並びに職員の皆さんの日常不断のご努力と各事業所の温かいご理解によるものと、心から敬意を表するものであります。

本格的な高齢化時代を迎え、「高齢者が、意欲と能力そして健康に応じて、安心して生き生きと働ける社会づくり」が、二十一世紀に向けた大きな課題となっております。

その意味でもシルバー人材センターは、高齢者の方々が「福祉の受け手から、福祉の担い手」として、その豊富な経験や優れた能力を地域で生かし、自己の生きがいの充実と自主的な社会参加を図っていくうえで、大きな役割を担っているわけでございます。

今後におきましても、ますます市民からの需要が増大し、大きな期待が寄せられるものと思いますが、スローガンにありますように「生きがいづくり、仲間づくり、健康づくり」のために、センター事業に多くの方が加わり、高齢者の皆さんが共働共助の精神で地域社会に貢献していただきますよう心から念願する次第であります。

会員の皆様並びに関係各位のますますのご健勝とご活躍を心から祈念申し上げます、新年のごあいさつといたします。



年頭にあたり

思うこと

事務局長

今 村 健 一



新年明けましておめでとうございませう。

私達のセンターも、今年四月一日には、満三歳の誕生日を迎えることになりました。順調な発展を遂げていることを、会員の皆さんと共に喜び申し上げます。

センター運営につきましては発足以来、問題・課題の解決に取り組んで参りましたが、四年目を迎えた今年も、センターのより良い発展のためには、まだまだ問題山積のようであります。以下予想される問題・課題・努力目標を挙げてみたいと思っております。

一、普及啓発活動の推進

(一) センターでの就業は、単に収入を得るためだけの労働でなく、「生きがい」を求めて働く「社会参加」の場であり、セ

センターの運営についても、自主自立・共働・共助の精神が強く求められています。

(二) また、対外的には、シルバー即、草取り、雑役の仕事だけのイメージでなく、高齢者の特性を生かした「人材活用」の面の利用について、一層のご理解をいただきたいものです。

以上の点について、会員の家族や、地域社会の方々に、制度の趣旨と機能が正しく浸透されるよう、気の長い普及啓発活動が必要であると思います。

二、会員確保の推進

制度の発展と受注拡大に対応するためには、就業意欲を有する高齢者を、会員として一人でも多くセンター事業に参加させる必要があります。

「会員一人が、新規会員一人以上を確保する運動」を更に展開して、会員確保をはからなければなりません。

三、就業開拓の推進

会員確保と就業開拓は車の両輪であります。

会員の就業希望の多い職種を重点的に開拓することは勿論ですが、福祉サービス分野への進出、事務系職種の開拓、ごみの資源化・減量化、の仕事への

参加は、会員の特性発揮と、地域社会への貢献の両面で極めて意義あることであると思っております。

四、契約締結及び就業形態の適正化

センターは、臨時的・短期的な仕事を、請負・委託の形で引受けて、会員に就業させることになっていきますが、現状は、雇用類似の就業実態があり、最近では、国の関係機関の調査の中で指摘され、是正改善事項として指導が強化されるようになりました。このためには、発注者側と、センターとの契約の在り方の工夫、改善、及び、会員の就業については、ローテーション就業の採用などの方法により改善をはかって参りたいと思っております。

五、センターの拠点づくり

高齢者の就業拠点、即ち、事務局機能、理事会等事業運営に必要な会議室、技能講習会、安全教育、各種相談室、作業室などの設備を有する拠点づくりについて、国の補助制度が設けられました。市当局におかれても既にお考えもあるようですが、早急な実現を希望いたしております。

会員のひろば

センターに入会して

富高A地域班

竹田 義夫



一九六〇年頃より、高血圧のため、五年間病院通いが日課でありました。回復後、何か健康のためにも仕事をと考えておりました時、センターの新聞折込を見て入会しました。

初会合で四、五人の顔見知りの人と会い、話はずみ、もうこんな年になったのかと思う次第。

今までは建築関係の仕事をしておりましたので、昔の仕事ならできると思い、始めました。最初は体ならしのつもりでしたが、五年間の空白のため思うように進まず、業務関係の方々に助けられ、一日一日をすごすうちに、早や三年がすぎようと思っています。

近頃はセンターに行くことが

楽しくなり、同年輩の皆と顔を合わせ、色々な世間話もできるようになり、毎日毎日センターに行くのが楽しみです。

今は、健康も昔のようになり仕事に励んでおります。仕事が終わった時、発注者の方々に喜んでもらったことが、印象深く記憶に残っています。

現在は毎週水曜日に職業訓練校造園科に通っており、早く卒業して皆様方の役に立ちたいと考えております。また、事務局の方々、色々お世話になります。今後ともよろしくお願いいたします。

共働共助

財光寺C地域班

岩切 秋子



平成二年四月に友達に誘われて入会しました。六月から永寿園の洗濯掃除を週二日の割合で就業しました。老人の方とのふれ合い、寮母さんと下の世話、寝たきりの人の食事の世話、入

浴日の洗濯の山々、ほんとに大変だなと思ひ、実際に仕事をさせてもらって、初めて人の苦勞が分かりました。

これも人材センターに入会して仕事に就かせていただいたお陰だと思っております。

センターでいつもお話して下さる「共働共助」本当にそうだと思います。高齢の方が働かれる事は大変です。人と人との心のふれあいのために頑張っている姿を見て、本当に頭が下がりました。

世の中まさに「共働共助」です。この言葉が好きになりました。この言葉を大切に残り少ない人生を楽しく働かせて頂きたいと思っております。人材センターに入会して、私の人生観がちがってきました。私を誘って下さった友と、センターの方々に感謝いたしております。

「敬老日察母の寸劇なかなか」

会員になつての雑感

日知屋本郷B地域班

新 田 峯 一



私はフットしたキツカケで、この会に自発的に入会しました。以来一年余りが過ぎ、継続、短期と八種類の仕事をさせてもらった。卒直にこれまで感じたことを述べます。

(一) この会に入会して本当に良かった。小学校の臨時用務員を一ヶ月程をさせてもらったが、ちょうど秋季運動会前で、環境整理に忙がしい時、教頭先生の指示の基、指示がなくても自分で仕事を見つけて出来るだけのことをした。その結果、可愛い児童には親生まれ、各先生方から信頼され、就業が終つて別れを告げる時、職員朝礼で校長先生から「正規職員以上の仕事をしてもらつて助かった。校舎内外も見違えるようになった」と、感謝の言葉があり、職員一同から記念品まで頂戴しました。

(二) 会員だからこそ働らせてもらえる所がある。一仕事を終え現役を退いた私に、働きたいから個人で就職を求めても、おいそれと受け入れてくれる所はない。先輩会員が築いてくれた発注者からの信頼感と、「シルバー人材センター」という看板があればこそ色々な仕事をさせてもらえる。この会員である

という誇りと自覚を持ち、センターの看板に傷をつけることのないよう社会の信頼を一層高めることを念頭に、体の続く限り会員としての務めを果したい。限られた紙面で十分に意を表することができず残念ですが、会員のみなさんに参考になれば幸いです。思い雑感の一端を終ります。

日向市文化交流

センター清掃に

従事して

日知屋本郷B地域班

柏 田 マルエ



センターの会員として発足当初より御世話になつて居ります。最初に仕事に従事したのが、土田歯科の清掃の仕事でした。それから市役所の広場の草刈清掃や又野球場の整備、科学飼料研究所等に従事させて頂きまして誠に会員になつてよかつたなあと感謝致して居ります。又現在では日向市文化交流センター清



掃員として、働かせて頂いている喜びと共に、リーダーを先頭に和気あいあいに皆様と共に手を取り合い働いて行く姿は本当に頼もしく思い頑張っております。又家には病弱な主人がいて、就業表を見て「明日は仕事だなあ」と理解してくれています。私達の就業日数は月に十日間位であります。明日は仕事だと思ふと勢いが出てきます。

又予定外の就業依頼を受けますと全員集合し、仕事をする時も喜び勇んで就業致します。こ

れからもセンターの皆様にお世話になりませんが、会員の皆様と共に一日一日を楽しく人と人との和を大切にして、健康に注意してセンターの発展を祈念して頑張るつもりです。

市広報ひゅうがの

配送について

平岩地域班

田村 広繁



私は平成元年、センター設立の初総会に会員として入会し、二年余りになります。その間ゴルフ場の雑役係、国勢調査の調査員、運行統計の調査員、自動車駐車場の駐車時間帯の調査を経て現在、市の広報ひゅうがを南部地域の平岩、幸脇、美々津の二十二区公民館長宛、毎月一回内至二回配送しております。

範囲は国道十号線を中心に東西南北の農山村、商店街にわたっています。また各公民館長にあって人と人とのふれあいを大

切にし、和の絆についても聞き大変嬉しく思っております。

今後とも健康に留意の上、明るく親切、誠実にセンターの就業に努力し、頑張っていきたいと思えます。私は老いても青春を失なわないで明日への希望と夢を追って、生き甲斐のある悔のない人生に向けて進みたいと念じております。

会員の皆さん共働・共助の精神でいついつまでも頑張ってくださいませ。最後に事務局のあたたかいご指導ご支援のもとに就業できることを深く感謝いたします。



発注者の声

シルバー人材

センターを利用

させていたただいて

南日本ハム(株)採用担当

岡山 清英



新年おめでとうございます。

一昨年来センターにお世話をいただいておりますが、我が社も従業員七百名を有し、世間で言います「人手不足」「高齢化」の言葉を耳にするたびに、マイナス指向の言葉にうんざりさせられます。人生百才を目前にして六十才で定年とは……あと四十年間もどう成るんでしょうか？

当社で働いていらつしやるセンターの方々には実に生き生きと、社会参加を楽しんでいらつしやる様にお見受けします。

特にセンターのモットーであります「誠実」「親切」「丁寧」「責任」これに経験が加わって、若い人には到底求めようのない

要素を発揮していただいています。ともあれ「物」の時代から「心」の時代へ移行せんとしている今、センターの会員の方々は色々な社会的役割りを期待せずにはおられません。

健康だから働くと云うのではなく、働いているから健康なんだと会員の方々に聞いた事があります。

最後に、日向のセンターが、独自の活動展開をされ、成果をあげておられる事に、敬意を表すると共に、会員の方々の活躍を祈念致します。

センターにお世話になつて

なつて

南海旭(株)製造第二部次長

大橋 弘



新年明けましておめでとうございませう。

昨年中は大変お世話になりました。ありがとうございます。

南海旭(株)会社は旭化成の系列会社で、カシミロン製の繊維糸を中心に製造している会社

です。従業員数は男子三〇〇名、女子一八〇名、計四八〇名です。シルバーセンター設立時からお世話になり、現在も、男子十二名、女子二名、お世話になっていきます。主な仕事は製品の箱詰機械保全の補佐等です。皆さん大変責任感が強く、又丁寧で安心して任せることが出来、今では従業員のひとりとして大変助かっています。

人生八十年の時代、サラリーマンには定年があるが、人生には定年はありません。終身現役の目標設定も、六十才から八十才に改定しなければならなくなりました。よく「俺は定年まで勤めれば十分だと思おう」という人がいますが、定年を人生という花の開花期と考えてみて、永年培ってきた自分の得意とする技術、技能を他の人とは何か違ったオンリーワンの存在価値を私達に仕事を通じて教えて頂ければと願っています。

会員の皆さん、これから健康に留意され、あまり無理せず頑張って下さい。



会員の講習会

草刈機取扱

講習会について

新町・塩見地域班

黒木 武雄



十一月八日、暦の上では立冬と云うのに、小春日和の暖かな一日センターの会員として十六名の参加者と共に、自然の美しさの中に大切な草木の管理にたずさわる良い機会と思い参加致しました。

今日では草刈にも数多くの機械が使用され、短時間に仕事ができる時代です。機械の性能及び取扱の知識を得ることにより、事故を防ぎ安全作業を行う事ができます。講師のお話しを聞くまでは、仕事は緩慢で特に機械の取扱については反省する点が多くありました。今後はこのような講習会を開いていただき、勉強して多くの友と共に社会に奉仕する楽しさが出来るよう努力いたしたいと思えます。

植木剪定講習会に

参加して

日知屋本郷A地域班

福田 政志



私達剪定班の会員はこの度、日向養護学校で開催された植木剪定講習会に参加させていただきました。初めに「造園の基礎知識について」の講義があり、その後実技指導がありました。

早速みんな講習会で学んだ知識と技術を発揮して、同校玄関前や校庭の周りに植えられたツツジ、松、山モモやキンモクセイ等の剪定を約二時間ほど奉仕作業をして、校庭もきれいになりました。このように植木剪定講習会のお陰で、私も昨年造園の二級技能検定試験に合格し感謝しております。今後も会員の技術向上のうえからも、このような講習会を度々開催していただきたいと思います。私はもともと植木いじりが好きなものですから、定年後は趣味を生かしたらと思ひ、センターの剪定班の一

員に加えてもらって、先輩の方々の指導を受け、色々の植木に接しながら、又センターの素敵な方々とこれから第二の人生を楽しく有意義に送って行きたいと思えます。

酒泉の杜日帰り旅行

想い出の酒泉の杜

財光寺D地域班

島村 助男



六月七日発足して初めての会員親睦慰安旅行は、好天に恵まれバスは新緑の中を、綾酒泉の杜へと向いました。車内では自己紹介と、センターでたずさわって来た仕事の苦労話や、楽しかった事等、笑いをまじえながら時のたつのもわすれる程のなごやかさで、いつの間にか目的地に着いていました。

ここは県内でも代表的な酒造場ですが、意外と初めての人が多く、工場を一通り見学して、

きき酒コーナーでしぼりたての生原酒を頂きました。これは愛酒家でなくともこたえられない味で皆舌づつみを打ちました。向いが大浴場で、打たせ湯、露天風呂ありで最高の気分。宴会場では、同じような年代という事もあってか、昔懐かしい調べで盛り上がり、青春時代を思い出しながら「第二の人生」シルバー人材センター会員であればこそ味あえる楽しい一日でした。最後にこれを企画して下さい。理事長始め事務局員の皆様から心からお礼を申し上げます。ありがとうございました。

酒泉の杜旅行を

顧り見て

日知屋枝郷 A 地域班

小川 政 男



六月十四日、酒泉の杜旅行に初めて参加した。集合場所、センター事務局前に行くと、酒泉の杜送迎バス三台が来ていた。会員の皆さんもほとんど集まり

三台のバスに班別に分乗、出発した。

車内には初めて見る会員さんもいましたが、すぐに気心もあいい、まもなくお酒が配られると歌など歌って、綾城に着いた時はかなり賑かになっていました。

大手門で記念撮影、城内観光馬事公苑の花時計見学をすませ酒泉の杜へ。雲海酒造の工場見学、きき酒、大浴場とめぐり、喜々として親睦会場へ行きました。会場には御馳走が盛沢山並べてあり、皆思い思いの席につききました。

その後、局長あいさつ、自己紹介と進み、宴会になりました。カラオケ、踊りなど友人はだしの上手な人達ばかり。宴たけなわ盛上った頃時間となり、雨の中、帰路につきました。

帰りの車中も宴会場に早変わりして、いつのまにか無事日向に着いていました。本当に楽しい一日でした。

来年も会員の親睦慰安旅行を一泊二日の予定で、是非計画して実施して下さい。お世話くださいました事務局の皆さん、関係役員の皆さん、本当にありがとうございました。

一日の旅

新町・塩見地域班

寺 原 典 子



「酒泉の杜」の杜と云う字を辞書で調べてみたら木の多く茂った森でもあるが、杜氏（酒を造る職人のこと）の意味でもあることがわかりました。

「あ、それで酒泉の杜とつけたのだ」と思いました。

耳にただけで綺麗な水が豊富に湧き出て美味しい酒が造られると領けました。あまりお酒をたしなまない私でさえ、一寸一杯と試飲をした程です。

落成をしてまだ日が浅いせいもあり活気に溢れている様子が見受けられました。

その酒泉の杜での人材センターの集いですから「あつ」と云う間の楽しい一日でした。

自己紹介もあり、それぞれ若い時に精一杯働いてやっと熟年に達し、心と時間にゆとりが出て来てこれからは、健康のために働き、そして時には楽しい旅をして思い出話や、病気の体験

談等々語り合って、又新しい友にめぐり合っていていけるなんて、すばらしい事です。

今こうしてペンを走らせていても綾城のやぐらや、色鮮やかだった花時計の一こま一こまが頭に浮かび楽しい思い出の一頁になりました。

無理をしないで頑張りこの頁数をふやして行きたいものです。

奉仕活動について

財光寺 B 地域班

井 上 繁



心配された台風も東太平洋に去り、少し雲が多い天気でしたが、作業には絶好の日和となり年に一度の奉仕作業に会員約二百有余名が、十月九日午前九時に御鉢ヶ浦公園に集合。挨拶の後、各班別に黒田の家臣、御鉢ヶ浦公園、グリーンパーク駐車場の三ヶ所に別れて作業に当たった。

私は入会後初めての奉仕作業であり、手鎌を持って御鉢ヶ浦公園の草刈清掃に参加しました

広大なる公園の道路側斜面は、草つる等の密生地を草刈機のエンジンリズムに合わせて、手鎌を持った作業員が次々と刈取った草等を斜面道路に落とし、最後に松葉箒で清掃した。

遙か黒田の家臣の付近では、浮流物等漂着ゴミを焼く煙りが立上り、細島港湾内の静かなる一瞬が見られた。草刈機のエンジンの音が途絶える頃は、見違えるような整然とした公園になり、心よい汗を流したことに感謝したい気持ちで一杯でした。

最後に各別による弁当を囲み語らい、楽しい半日でした。来年も又元気に奉仕作業に参加できるように頑張りたいと思います。

奉仕作業に参加して

美々津地域班

岩 切 豊



奉仕作業当日までは、私に出来るだろうかと心配でした。しかし当日は、私より高齢の七十

歳、八十歳の方々が姉さんかぶりで続々と参加。私もたまたま割当てられた仕事が海岸掃除だったからでしょうが、お陰で何とかやれました。

開会式では事務局長の「啓蒙のための全国一斉に行われる行事」というお話や、細島地域班長甲斐ハツ子さんの決意表明と自己紹介に感激で、ジーンとなりました。また作業後、海を眺めながら戴いた弁当のおいしかったこと。小学生の頃、宮城外苑の勤労奉仕で「流れる汗を拭いたら、ニッコリ富士が笑ったぞ」と歌ったことを思い出したり「センターの仕事は善意の仕事、お金が目的ではない」と実感したりもしました。

とにかく、わずかな時間でしたが、楽しい一日でした。職員、班長さん方、準備から片付けまで大変だったでしょう。これからもよろしく願います。



安全就業について

安全対策推進委員長(理事)

高 橋 彰 一 郎



シルバー人材センターの事業は、毎年すばらしい伸びをみせているが、残念ながら傷害事故も、就業日数の伸び以上に増えているそうです。

そこで、今年度の「全国安全週間」でのスローガンを注目してみると「みんなで決意、みんなで努力、前進させよう職場の安全」とあります。

この「みんな」とは何かを考えてみました。安全は自分一人で確保されるものではありません。次の四つのポイントが「みんな」という意味のようです。

一つは、仕事場を管理する(発注者、管理監督者、経営者など)人の協力。
二つは、仕事をするための(道

具、機械、保護具、職場の環境など)モノの改善をする人。
三つは、自分自身の安全に対する意識、体調の管理。
四つは、自分をとりまく家族の協力、仲間の協力など。

それぞれが関わりあって「みんな」がいたわりあって、はじめて安全就業は確保されるのではないのでしょうか。

社会参加と生きがいを求めてセンターの会員となり就業しておられる方々が、傷害や健康障害を受けるようなことがあっては、何のための就業であったかということになります。

日向市シルバー人材センターも、十月一日よりセンターと会員と役員が一体となった「安全対策推進委員会」による「安全管理委員会」を設置し、安全就業に取り組むようになりました。

就業実績の向上は、傷害事故の減少によって、はじめて達成できることを忘れずに、努力していきたいと思えます。



小林市シルバー人材センター役員交流研修会に参加して

財光寺B地域班長

治田 恵



九月五日に小林市シルバー人材センターから、役員十四名が来られて合同研修を、午後一時より三時三〇分まで行ないました。スペースの関係で、研修のあらましをまとめて報告いたします。

最初に自己紹介、その後で今村局長より、日向市シルバー人材センターの、現状の説明がなされた。(一)センター地域班組織図の説明。(二)地域班会議開催結果報告。(三)会員確保対策等。

次に小林センター局長からの現状説明がなされた。

(一)事業開拓及び会員募集について。(二)市広報に大会のおすすめ掲載。(三)チラシ新聞折り込み配布。以上の方法で会員の募集をしましたが、あまり効果はなかった。

(二)安全就業対策。
(イ)安全対策委員による、現場巡回指導。

(ロ)ヘルメット、安全ベルト、保護具着用。

このように安全対策については機会あるごとに周知徹底を図っている。

以上、小林市からの一応の説明があった。

この後で共通の話題になったことは、

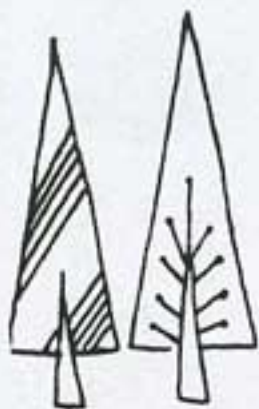
一、会員確保には、どのような対策をたてたらよいか。

シルバー人材センターについて一般市民の理解がたりないのではないか。もつとシルバーセンターのもつ理念を、会員は勿論のこと、家族も理解してほしい。

二、地域班の活動は、どうあったらよいか。

会員相互の交流を行ない、共働共助の気運を高めてゆくようにしていきたい。以上で交流研修会の要旨を終わります。

二、地域班の活動は、どうあったらよいか。



趣味の紹介

日知屋枝郷A地域班

田中義行さん



「田中さんの趣味は、ラジコン飛行機やヨットを製作し、操作するということです。始められたきっかけやその楽しさをうかがいましたのでご紹介します。まずきっかけは？」

「子供の頃から、模型飛行機などを作って飛ばすのが好きだったこともあり、退職後暇ができたので始めました。六十三年の五月くらいからです。」

「どんなものを作るんですか?」「飛行機やヨットです。飛行機の方は翼の長さ一m四〇cmぐらい、ヨットは高さ一m五〇cmぐらいになり、完成までには四・五万円かかる時もあります。」

「この趣味の醍醐味というと、まず機体を作る楽しさに始まり、飛ばし操縦する楽しさ、失敗して落下した機体を山中歩き回って探すのも、壊れた機体を修理して再挑戦するのも、それぞれ違った楽しみがあり、あきらめることがありません。又、ほんの少しの狂いがあっても思うような操縦ができないだけに、手元に戻ってきた時の喜びは最高です。」

現在田中さんは、高森山の方で飛ばしているとのことですが、会員としても、駐車場整理やプロレス会場設営など活躍してもらっています。今後もスケール大きな趣味同様、ご活躍を期待しています。



さる年

とし男・とし女

大正九年、昭和七年生まれの皆さんは、今年はとし男、とし女。ひと言ずつ今年の抱負をうかがいました。皆さんにとって平成四年が、今まで以上に充実した良いお年となりますよう、お祈り申し上げます。

○富高B地域班



河野 キクノ
元気で頑張りたい。

○財光寺A地域班



那須 幸衛
今の仕事を頑張っていていきたい。

○財光寺B地域班



佐藤 義子
還暦といってもまだまだ若い。頑張ります。



椎葉 進
元気に頑張りたい。

○財光寺C地域班



金子 花子
あるがまま、なるように。



中瀬 武義
余生を社会奉仕に専念したい。



河野 ミヨコ
健康でありさえすれば。

○財光寺D地域班



江藤 菊重
体に気をつけて、頑張りたい。



西島 暎之助
病気も去り、健康第一で。



満脇 ミヨ子
今年も頑張ります。

○日知屋本郷A地域班



染川 石男
無理せず健康で。



亀井 フヂエ
六回目の年女。次の年女も元気で迎えたい。



是沢 トシ子
ただ健康で仕事ができれば。



湯地 泰三
第一線でまだまだ頑張ります。



橋口 米實
自ら決めた。健康十訓を守り、頑張りたい。



成合 敏
シルバーのご発展を祈ります。

○日知屋本郷B地域班



植村 静子
健康でありたい。

○日知屋本郷B地域班



吉野 清
健康でありたい。



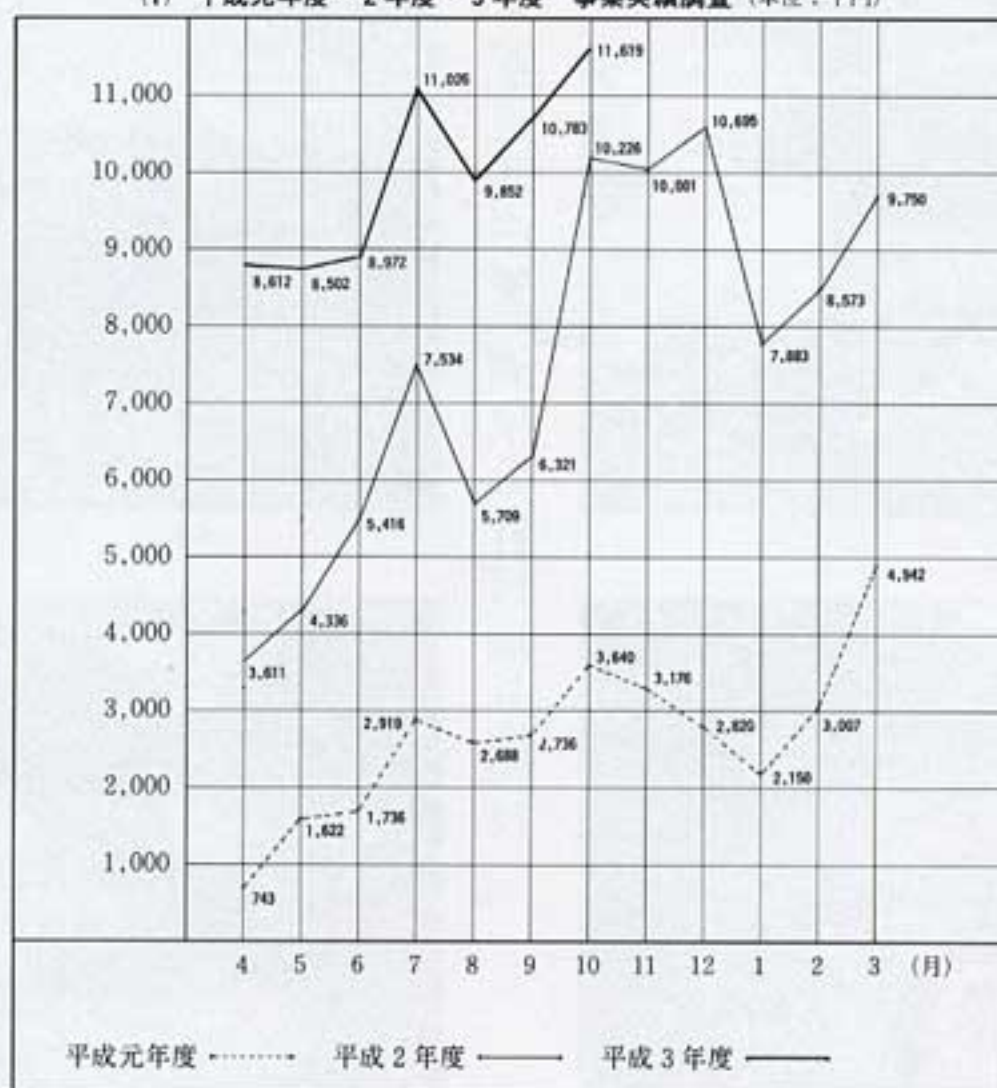
日高 美留子
今のまま、働き続けていきたい。

○幸脇地域班



柄本 ミサ子
健康で頑張りたい。

(1) 平成元年度・2 年度・3 年度 事業実績調査 (単位: 千円)



(社) 日向市シルバー人材センター地域班組織

No	地域名	会員数	構成地区名	班長氏名	副班長氏名
1	新町・塩見	25	新町・塩見	寺原正仁	矢北孝明
2	富高 A	29	中央・東草場・西草場・中原・高見橋通り・春原・広見	村矢光雄	伊藤正行
3	富高 B	17	本谷・西川内	河野利秋	黒木美義
4	財光寺 A	19	山下・長江	笹原 亨	平塚 哲
5	財光寺 B	19	比良・川路	治田 恵	井上 繁
6	財光寺 C	38	往還・松原	黒木利光	岩切秋子
7	財光寺 D	38	切島山 1、2・秋山・向洋台	森岡健二	島村助男
8	日知屋本部 A	23	上、下原町・高砂・永江町・新生町・公園通り・江良	重成初美	福田政志
9	日知屋本部 B	33	堀一方・曾根・畑浦	安藤 稔	平田 勝
10	日知屋枝郷 A	28	鶴町・亀崎東・亀崎中・向江町・大王谷	谷口義春	小川政男
11	日知屋枝郷 B	28	日向台・北町 1・花ヶ丘・庄手・梶木・迎洋園・不動寺	藤田辰巳	岡田万寿江
12	細 島	17		甲斐ハツ子	児玉シカノ
13	平 岩	8		新名 格	一政久男
14	幸 脇	18		土谷豪盛	村山スミ子
15	美々津	26		河埜 坦	村中久三郎
合 計		366			



綾城にて



馬事公苑花時計前にて

▲写真ルポ▼ 酒泉の杜日帰り旅行



酒泉の杜にて



綾城にて

事務局だより

●新入職員紹介



吉田 美紀子

十月から庶務係の方で優しい職員の方々と一緒に仕事をさせてもらっています。毎日、夕方仕事を終えて帰って来る会員さんが明るい表情で一日の様子を話して下さるのを聞くのが今、楽しみです。よろしくお願います。

▼会員逝去のお知らせ

竹之内 隼人様(60才)
日知屋枝郷A地域班
平成三年九月三〇日
永眠されました。

心よりお悔み申し上げます。
ご冥福をお祈りいたします。

編集後記

シルバー日向岬。第二号を、一九九二年、一月一日発行にあたり、原稿をお願いした方々には、御協力を賜り感謝いたします。一号二号については会報編集委員会にて投稿者を選定してきましたが、三号以降についてはいつでも会員が自由に原稿を、センター事務局へ投稿できるように改善いたします。

それに併用して取材方式も検討中です。このように改善することで、皆さんに親しまれ、会員に密着した魅力ある会報が継続的に発行可能となるよう、努力していきたいと思っております。今後共ご支援とご協力をお願いします。

編集委員

森岡健二・治田 恵

椎葉ハツノ

事務局職員

今村健一・兵頭幸一

出口美由紀

